

《第1回ICD特別賞受賞者活動報告》

ICDミャンマー部会との交流



ICDマスターフェロー

小室 甲

●抄録●

2007年の秋、私が会長を勤めておりましたが、東京にいたICDミャンマー地区の先生からICD日本部会と交流したいという連絡を受けたのが、ICDミャンマーとの親しい交流が始まる端緒となりました。

ミャンマー地区との交流については、日本部会が尽力してミャンマーの部会設立に貢献することができれば、国際貢献をすることができると考え、日本部会の理事会および総会において、ミャンマー地区との交流促進に関して経過を報告し、賛同を得ることができました。その後、多くの手続きを経て、2009年に横濱で開催された国際理事会で、ミャンマー地区は部会に昇格することができました。

キーワード：ビルマ、ミャンマー、ICDミャンマー部会

2007年の秋、東京にいたICDミャンマー地区（当時は部会ではなかった）の先生から日本のICD事務局に、日本部会と連絡を取りたいという連絡があったという報告を受けました。この連絡がその後のICDミャンマーとの親しい交流が始まる端緒となりました。

当時は、私が会長を勤めておりましたが、大阪在住でしたので、ミャンマーの先生と東京でお会いすることが叶わず、当時、事務局長であった佐藤吉則フェローにミャンマーの先生とコンタクトを取るよう指示いたしました。そこで佐藤フェローはミャンマーの先生（トントン先生・Dr. Tun Tun Thwe）とお会いして、ミャンマー地区が日本部会と交流したいという希望を持っていることが伝えられました。

ミャンマー地区との交流について、佐藤フェローから報告を受けましたが、当時は『ミャンマー』という国名になじみがなく、国の情勢についてもほとんど知識はありませんでした。日本部会が尽力してミャンマーの部会設立に貢献することができれば、国際貢献

をすることができる考え、日本部会の理事会および総会において、ミャンマー地区との交流促進に関して経過を報告し、賛同を得ることができました。

I. ミャンマー地区の部会への昇格準備

2008年 当時の国際会長Donald Johnson会長が日本部会認証式参加のため来日されましたので、私は、帝国ホテルでJohnson会長とミャンマーのCho Sitt会長とトントン事務局長の会談を設定し、ミャンマーが部会に昇格したいこと、そのために必要な準備等について両者が意見交換しました（図1）。

Johnson会長からは部会になるためには定款を作り、会費徴収の透明化を図るべきという助言を得たようでした。

II. ICD国際理事会で部会へ昇格
(2009年5月・横浜開催)

ICD国際理事会が横浜で開催され、各国の国際理



図1 帝国ホテルでの懇談

左よりJohnson会長、ミャンマーCho Sitt会長、トントン先生

事が来日しました。その年の国際会長はDr. Richard Sickで、この時の国際理事会でミャンマー地区が部会に昇格することが承認されました（図2）。



2009 - YOKOHAMA JAPAN
INTERNATIONAL PRESIDENT, GENERAL SECRETARY
AND MYANMAR PRESIDENT & SECRETARY

図2 横濱での懇親会

左よりトントン先生、新事務局長、Sick国際会長、Cho Sittミャンマー会長

この度ICDミャンマー部会との交流に初期から関与できたことで賞を授与されることになりましたことは、大変名誉なことであり、宮崎 隆前会長およびフェロー各位に対し、感謝申し上げます。

Interact with ICD Myanmar Section

Hajimu KOMURO, D.D.S., Ph.D., F.I.C.D., Master Fellow

It was the fall of 2007 during my presidency, when a doctor from the ICD Myanmar Subsection, who was staying in Tokyo at that time, contacted me, seeking an exchange with the ICD Japan Section, and our active communication started.

Considering the possibility of the Japan Section contributing to the international society by helping the Myanmar Section be established, I reported the progress of promoting the exchange with the Myanmar Subsection at the Japan Section National Council Meeting and Annual Meeting, and obtained other members' approval. Subsequently, after following many procedures, the Myanmar Section was chartered at the International Council Meeting in Yokohama in 2009.

Key words : Burma, Myanmar, ICD Myanmar Section